

第 7 回

白神山地周辺の森林と人との共生活動に関する協議会

日時：平成24年6月26日（火）  
14：00～15：30  
場所：鯨ヶ沢町中央公民館大会議室

次 第

- 1 開 会
- 2 東北森林管理局 計画部長 開会の挨拶
- 3 議 事
  - (1) 平成23年度事業実施報告・・・・・・・・・・・・・・・・ 資料6ページ
  - (2) 平成24年度事業計画・・・・・・・・・・・・・・・・ 資料9ページ
  - (3) その他
- 4 津軽白神森林環境保全ふれあいセンター所長 閉会の挨拶
- 5 閉 会

## 配 付 資 料

### 1 資料

- ・協議会委員名簿
- ・協議会委員出席者名簿
- ・事務局名簿
- ・白神山地周辺の森林と人との共生活動に関する協議会設置要領
- ・平成23年度事業実施報告
- ・平成24年度事業計画

### 2 別冊

- ・平成23年度事業実施報告説明資料

### 3 平成23年度年報

- ・活動報告

## 協 議 会 委 員 名 簿

(五十音順、敬称略)

氏 名	職 業 等
あさぬませいご 浅 沼 晟 吾	東北地域環境計画研究会 理事
いしおかれいじ 石 岡 玲 爾	三陸森の会・弘南森の会 会長
おおくぼ つとむ 大 久 保 勉	日本山岳会 青森支部長
そうまみつはる 相 馬 光 春	森林組合連合会（白神山地ビジターセンター館長）
たむらさなえ 田 村 早 苗	青森大学大学院環境科学研究科 教授
とうじょうあきひこ 東 條 昭 彦	鱒ヶ沢町長
なかはまかずお 中 濱 和 夫	赤石川を守る会 会長
ながいかつと 永 井 雄 人	白神山地を守る会 代表理事
にしだひでいち 西 田 秀 一	白神倶楽部 会長
ふくいだいきち 福 井 大 吉	津軽人文・自然科学研究会 会長
まきたはじめ 牧 田 肇	弘前大学名誉教授
まかなえひろし 蒔 苗 博	青森県西北地域県民局地域農林水産部 林業振興課長
よしたみつる 吉 田 満	深浦町長

# 協 議 会 委 員 出 席 者 名 簿

(五十音順、敬称略)

氏 名	職 業 等
いしおか れいじ 石 岡 玲 爾	三陸森の会・弘南森の会 会長
おおくほ つとむ 大久保 勉	日本山岳会 青森支部長
そうま みつはる 相 馬 光 春	森林組合連合会（白神山地ビジターセンター館長）
たむら さなえ 田 村 早 苗	青森大学大学院環境科学研究科 教授
なか はま かずお 中 濱 和 夫	赤石川を守る会 会長
なが いかつと 永 井 雄 人	白神山地を守る会 代表理事
にし だ ひでいち 西 田 秀 一	白神倶楽部 会長
ふくい だいきち 福 井 大 吉	津軽人文・自然科学研究会 会長
ふじしま みきお 藤 島 幹 夫	深浦町観光課 課長補佐（深浦町長代理出席）
まか なえ ひろし 蒔 苗 博	青森県西北地域県民局地域農林水産部 林業振興課長
まき た はじめ 牧 田 は じ め	弘前大学名誉教授
よな が ひろたか 世 永 洋 貴	鯹ヶ沢町産業振興課 主査（鯹ヶ沢町長代理出席）

## 事務局名簿

氏 名	役 職 名
合 田 和 弘	東北森林管理局 計画部長
青 山 一 郎	東北森林管理局 指導普及課長
田 丸 義 次	東北森林管理局 企画官（自然再生）
加 藤 浩	津軽森林管理署 流域管理調整官
片 倉 啓一郎	東北森林管理局 青森事務所 自然遺産保全調整官
細 川 齊	津軽白神森林環境保全ふれあいセンター所長
山 上 裕 行	” 生態系管理指導官
川 村 幸 春	” 自然再生指導官
三 浦 利 樹	” 自然再生指導官



# 白神山地周辺の森林と人との共生活動に関する協議会設置要領

平成19年9月6日制定

## 〔名称〕

第1条 本協議会の名称は、「白神山地周辺の森林と人との共生活動に関する協議会」(以下「協議会」という。)とする。

## 〔目的及び設置〕

第2条 協議会においては、白神山地森林生態系保護地域(世界遺産地域)周辺の保全管理及び自然再生活動、モニタリング調査等に係る事項について協議し、森林管理局長に提言することにより、この地域の円滑な管理運営を図ることを目的とする。

## 〔協議事項〕

第3条 協議会は、森林管理局長の求めに応じ、次の事項について協議を行うものとする。

- (1) 森林生態系保護地域周辺のNPO等と連携した自然再生活動及び森林環境教育等に関する事項
- (2) 松くい虫等の対策に関する事項
- (3) モニタリング調査に関する事項
- (4) その他森林管理局長が必要と認める事項

## 〔構成〕

第4条 協議会委員の構成は次のとおりとする。

- (1) 委員は、学識経験者、地方公共団体関係者、NPO、ボランティア団体代表者等をもって構成する。
- (2) 委員は15名以内とする。任期は5年とし、再選は妨げない。

## 〔運営〕

第5条 委員会の運営は、次のとおりとする。

- (1) 協議会は、定例会年1回とし、必要に応じ臨時会を開催する。
- (2) 協議会の開催は、森林管理局長が召集する。
- (3) 協議会に座長を置く、座長は委員の互選による。
- (4) 座長は、協議会の議事を統括する。

## 〔その他〕

第6条

- (1) 協議会の事務は、主に東北森林管理局指導普及課において処理する。
- (2) この要領に定めるもののほか、協議会の運営に関して必要な事項は、座長が協議会に諮って定める。
- (3) 協議会の委員は、森林管理局長が委嘱する。

## 平成23年度 事業実施報告

### 1 自然再生活動

\*〔 〕内は、平成23年度年報「活動報告」に掲載されている箇所

- (1) 白神山地周辺における自然再生活動については、自然再生マップに基づき平成22年度に抜き伐りした箇所、ボランティアによる苗木の供給活動や植栽を実施した。作業終了後は、くろくまの滝、遺伝資源保存林、津軽峠(マザーツリー)などを散策した。
- ・ 7月 9日 一般ボランティアによる自然再生活動 [P3-①]
  - ・ 7月10日 一般ボランティアによる自然再生活動 [P3-①]
  - ・ 9月 9日 地元企業による自然再生活動 [P3-②]
  - ・ 9月10日 一般ボランティアによる自然再生活動 [P4-③]
- (2) ボランティア団体等の活動に際し、安全・技術指導等の支援を行った。
- ・ 5月22日 岩木山桜会議植樹会での植樹指導 [P13-③]
  - ・ 6月 4日 日本ユネスコ協会連盟、三菱UFJフィナンシャルグループ等の植樹祭での植樹指導 [P13-④]
  - ・ 6月18日 日本ユネスコ協会連盟、三菱UFJフィナンシャルグループ等の植樹祭での植樹指導 [P13-④]
  - ・ 6月25日 日本山岳会青森支部「白神山地ブナ林再生事業」での安全指導 [P15-⑥]
  - ・ 7月 2日 白神山地を守る会「白神山地ブナ植樹フェスタ in 赤石川」での植樹指導 [P15-⑦]

### 2 森林環境教育等

地元小学生を対象とした林業体験教室や親子木工教室、一般住民を対象とする自然観察会等を開催して、森林環境教育等を推進した。

#### (1) 森林教室等の開催

- ・ 5月18日 「花いっぱい運動」(鱒ヶ沢保育所の園児) [P4-①]
- ・ 8月 6日 森林体験教室 (日本ユネスコ協会連盟、三菱UFJフィナンシャルグループ等による「子ども自然体験教室」) [P5-②]
- ・ 9月 2日 林業体験教室 (西海小学校4年生) [P5-③]
- ・ 1月14日 第1回親子木工教室 [P6-④]
- ・ 2月18日 第2回親子木工教室 [P6-⑤]

#### (2) 自然観察会等の開催

- ・ 5月28日 第1回自然観察会  
(鱒ヶ沢町：くろくまの滝、ミニ白神) [P7-①]
- ・ 6月19日 第2回自然観察会



- (つがる市ほか：ベンセ湿原、小泊海岸) [P7-②]
- ・ 7月23日 第3回自然観察会  
(青森市：田茂范湿原ほか) [P8-③]
- ・ 10月19日 会員限定自然観察会  
(十和田市：奥入瀬溪流) [P8-④]
- ・ 10月22日 第4回自然観察会  
(十和田市：奥入瀬溪流) [P8-④]
- ・ 10月29日 第5回自然観察会  
(深浦町：十二湖) [P9-⑤]

### (3) 巨樹巨木巡り

深浦町内や白神ライン沿いなどの国有林等にある巨樹巨木を巡った。

- ・ 6月25日 第1回巨樹巨木巡り [P9-①]
- ・ 7月30日 第2回巨樹巨木巡り [P9-②]
- ・ 8月27日 第3回巨樹巨木巡り [P9-②]
- ・ 10月15日 第4回巨樹巨木巡り [P10-③]

## 3 NPO等各種団体との連携

NPO等各種団体の活動に対して支援・協力を行った。

- ・ 4月20日 あじがさわ白神山地ガイド倶楽部とのミニ白神現地合同研修会 [P13-①]
- ・ 4月21日 地元ガイド団体等との安全点検 (十二湖) [P13-②]
- ・ 5月31日 屏風山周辺の海岸林での環境美化作戦 (金木支署ほか) [P17-②]
- ・ 6月5日 県道白神ラインクリーン作戦 (白神案内 山の会、西目屋村) [P14-⑤]

## 4 森林生態系保護地域の保全管理

白神山地遺産地域における保全管理にあたっては、ボランティア巡視員、グリーン・サポート・スタッフ、津軽署と情報交換を行いながら、連携した巡視活動に取り組んだ。

また、白神山地世界遺産地域連絡会議 (環境省、青森県、東北森林管理局) の呼びかけによる合同パトロールに参加する共に、入山マナー向上の啓発を図るため、パンフレット配布を行いマナー遵守を呼びかけた。

- ・ 5月29日 平成23年度第1回「白神山地世界遺産地域巡視員会議」 [P11-①]
- ・ 6月26日 入山マナーパンフの配布 (暗門の滝) [P11-②]
- ・ 7月24日 第1回合同パトロール [P12-③]
- ・ 8月10日 第2回合同パトロール [P12-④]
- ・ 8月28日 第3回合同パトロール [P12-④]



- ・ 9月16日 第4回合同パトロール
- ・ 1月29日 平成23年度第2回「白神山地世界遺産地域巡視員会議」

〔P12-⑤〕

## 5 希少野生動植物の保護

希少野生動植物の保護については、白神山地周辺地域に生息するクマゲラの営巣木確認調査を5月下旬以降実施したものの、生息を確認すること出来なかった。引き続き確認情報の収集や現地調査を行うこととする。

地域内の固有植物であるツガルミセバヤや希少種のトガクシショウマなどの植生状況確認を行った。

緑の回廊における動物の生息調査については、センサーカメラの自動撮影によるモニタリング調査を秋田・青森県境の矢立峠周辺で実施した。(4月下旬と11月上旬)

奥赤石川林道沿いに設置した自然再生モデル林(2060い林小班:20年度設置)で野生動物生息状況調査を実施した。(9月26日から10月3日)〔P18-①〕

## 6 協議会等の開催

6月20日、第6回白神山地周辺の森林と人との共生活動に関する協議会を弘前市総合学習センターで開催した。〔P10-①〕

## 7 普及啓発の実施

### (1) ふれあいセンターの活動展等の開催

白神山地周辺における森林の環境保全や森林整備の重要性について、広く国民から協力と理解を得るため、また、当センターの取組活動について、地域住民にPRすることを目的に、ふれあいセンター活動展等を開催した。

- ・ 青森市(2月3~7日青森県立美術館)、つがる市(3月9~12日イオンモールつがる柏)において、活動展を開催した。〔P15-①,P16-②〕

### (2) 広報誌の発行及びホームページの充実

ふれあいセンターの広報誌「津軽白神ふれあい通信」を毎月発刊し、関係市町村、学校等の教育関係団体、自然観察会参加者などに郵送、当センターのHPに掲載し、イベント案内や活動状況等を紹介して森林環境保全の普及啓発に努めた。

### (3) 講演等

当センターの自然再生活動や白神山地の自然について講演等を行った。

- ・ 7月2日 「白神山地ブナ植樹フェスタ in 赤石川」のシンポジウムで、当センターの自然再生活動の取り組みについて発表した。
- ・ 10月14日 「白神山地と赤石溪流の観光を考える会」で、赤石溪流沿いの国有林について講演した。〔P17-③〕
- ・ 1月30日 「白神山地と赤石溪流の観光を考える会」で、白神山地における動植物について講演した。〔P17-④〕

平成24年度事業計画

1 自然再生活動

(1) ボランティアによる自然再生活動

日時	内容	募集人員
7月7日	山取苗の採取、仮植及び植栽 ブナ遺伝資源保存林散策	20人
9月1日	山取苗の採取、仮植及び植栽 くろくまの滝散策	20人
9月8日	山取苗の採取、植栽 くろくまの滝散策	「白神山地と赤石溪流の観光を考える会」

(2) モニタリング調査

抜き伐り箇所の子木の発生・生育状況を調査する。

(3) 種子による苗木生産について

白神山地周辺地域の自然再生活動の植栽には、遺伝子攪乱を防ぐためできるだけ直近で採取した種子から育苗した苗木を使っていきたいと考えている。

このことから、23年度、試験的に自然再生活動拠点箇所2（2039ら林小班）周辺で採取した、オニグルミの種子90個、サワグルミ9房、トチノキの種子を90個を林地に23年10月13日に播種した。（6月15日現在、トチノキ5本が確認された。）

本年度は、抜き伐り箇所周辺で種子を採取し、林地やプランター等に播種し、種子から苗木を生産できるような仕組みを確立できるよう実施する。

(4) 暗門川の地域について

22年度、赤石川下流において抜き伐りを実施し、ボランティア活動や森林環境教育の場、また、広葉樹林化を進める上での施業技術確立の一助となるよう調査を行っている。

一方、暗門川の自然再生箇所へは間伐の時期を迎えている林分が多く、自然再生活動の箇所も23年度に樹立された第4次国有林野施業実施計画の伐採計画に指定された。このようなことから、白神山地における自然再生活動を広く知ってもらうため、また赤石溪流と同様な活動を暗門川方面でも取り組むこととしたい。

対象となる箇所は、アクアビレッジ暗門から白神ラインを津軽峠へ向かい約2km（図-1）180林班い4小班とい5小班である。林況から「い4小班」については広葉樹割合が多いことから、広葉樹の生育に妨げになる木を伐採、「い5小班」（図-2）については列状間伐（図-3）で実施することを考えている。

スケジュールは、本年度収穫調査を行い、25年度以降津軽森林管理署で生産請負で抜き伐りを実行する予定である。

伐採後は、定点を設定し広葉樹の発生・生育状況を経過観察しながら、植栽、下刈りなどを実施していく予定である。



自然再生活動の予定箇所

林小班	マップ番号	面積 (ha)	樹種	林齢	抜き伐り
180 い 4	14	15.1	スギ	44	広葉樹の生育に支障となる林木の伐採
い 5	13	15.4	スギ	44	列状間伐

- (5) ボランティア団体等が実施する自然再生活動（植樹・育成等）において、技術安全指導等で支援する。

2 森林環境教育

(1) 森林教室、体験林業

	参加人数等	場 所	作業内容
9月5日	舞戸小学校4年生 56名	2057ぬ1林小班	植栽 くろくまの滝散策
9月6日	西海小学校5年生 21名	2057ぬ2林小班	植栽 くろくまの滝散策

\*雨天等の場合は、当センター庁舎内等において森林教室や丸太切りなどを行う。

(2) 自然観察会

イベント名	日時	場所	募集人員
「早春の花々が咲き誇る湖沼群を巡り日本キャニオンを観る」	5月26日	深浦町十二湖	30名
「初夏の花の湿原で植物・野鳥観察とヒバ巨木に触れる」	6月16日	つがる市ベンセ湿原、五所川原市金木町	20名
「ブナ巨木とふれあいながらの森林浴と世界遺産内の瀑布を巡る」	7月21日	西目屋村	20名
「紅葉のブナ林散策と名瀑・赤石溪流を散策」	10月17日 10月20日	鱒ヶ沢町 *10月17日は会員限定	20名

3 NPO等との連携

美化清掃活動など各種活動に積極的に参加・支援し、互いに情報交換しながら信頼と連携の向上を図る。

4 森林生態系保護地域の保全活動

- (1) 津軽森林管理署をはじめボランティア巡視員、グリーン・サポート・スタッフと連携した巡視活動を実施する。

(2) 白神山地遺産地域連絡会議と連携した合同パトロールやマナー向上パンフの配布などを実施する。

## 5 希少動植物の保護

### (1) クマゲラの生態調査

クマゲラの生息確認と営巣・ねぐら木を撮影し、繁殖活動等を記録する。

確認後は監視カメラ等により営巣・ねぐら木を撮影し、繁殖活動等を記録する。

### (2) センサーカメラによる動物生息調査の実施

自然再生モデル林、自然再生活動箇所を設置し、調査記録する。

### (3) 地域内固有種、希少種の植生状況確認

シラガミクワガタ、ツガルミセバヤ、トガクシショウマなどの植生状況調査を行う。

## 6 森林病虫害防止対策

### (1) 松くい虫、ナラ枯れ防止対策

早期発見と速やかな対応を行うため、巡視活動の実施や関係機関との連携を図り、被害を防止する。

### (2) ブナ葉食害等

一昨年、ブナ葉の食害が見られたことから、巡視活動を行うとともに、巡視員等との連携を図っていく。

著しい食害が発見された場合は、虫を捕獲又は写真撮影などの現地調査を行い、研究機関に依頼し、対応策等を講じる。

## 7 PR活動

### (1) 広報誌の発行、HP

広報誌「津軽白神ふれあい通信」を毎月発刊し、関係機関等へ郵送し、情報発信を行うするとともに、HPに掲載する。

### (2) 活動展の開催

当ふれあいセンターの活動をPRするため、2月から3月にかけて、青森市、つがる市において活動展を開催する。



# 位置図(180林班)

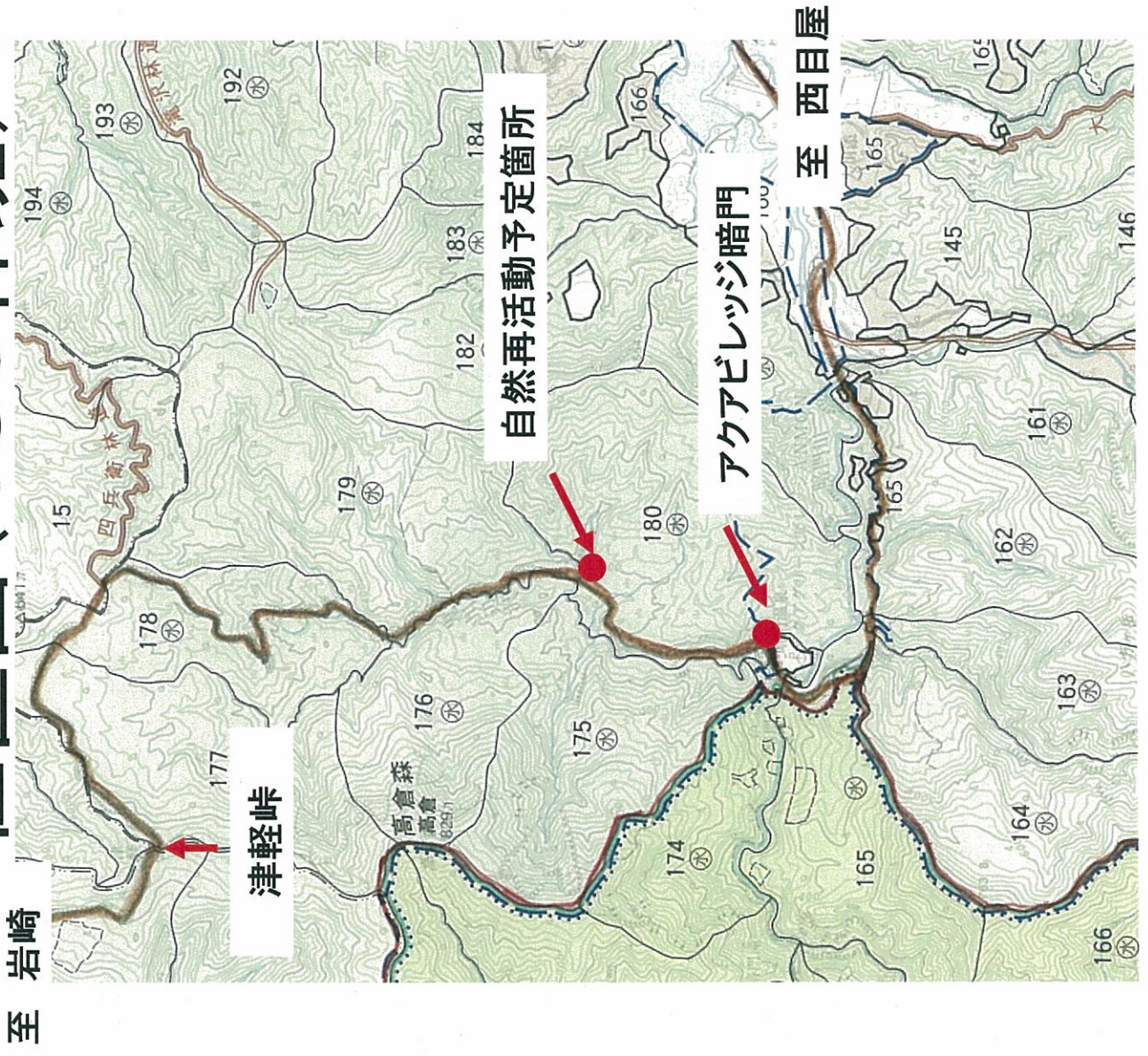
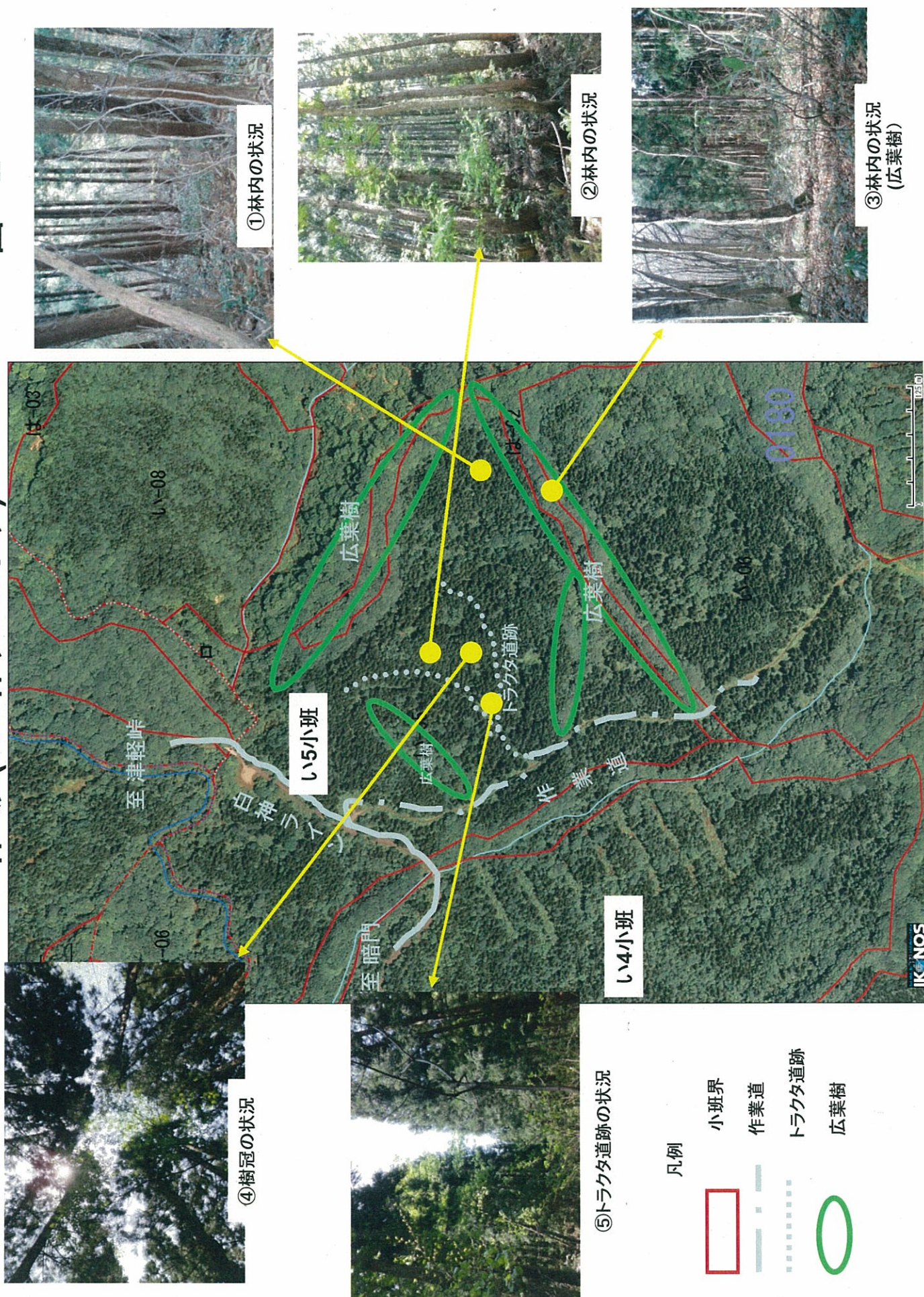


図-1



# 林況(180林班い5小班)

図-2





図一3

